

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**浦栗浜町立総合中学校(仮称)屋内運動場新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>2.7</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.6</b>	0.15			<b>2.6</b>
1.1 騒音				3.0	0.40			
1.2 遮音				3.0	0.40			
1 開口部遮音性能				3.0	1.00			
2 界壁遮音性能				3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-			
1.3 吸音				1.0	0.20			
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.4</b>	0.35			<b>2.4</b>
2.1 室温制御				3.0	0.71			
1 室温				-	-			
2 外皮性能				3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性				-	-			
2.2 湿度制御				1.0	0.29			
2.3 空調方式				-	-			
<b>3 光・視環境</b>				<b>1.8</b>	0.25			<b>1.8</b>
3.1 昼光利用				1.8	1.00			
1 昼光率				1.0	0.60			
2 方位別開口				-	-			
3 昼光利用設備				3.0	0.40			
3.2 グレア対策				-	-			
1 昼光制御				3.0	-			
3.3 照度				-	-			
3.4 照明制御				-	-			
<b>4 空気質環境</b>				<b>4.2</b>	0.25			<b>4.2</b>
4.1 発生源対策				5.0	0.50			
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆を採用		5.0	1.00			
2 放射能汚染物質				-	-			
4.2 換気				3.0	0.30			
1 換気量				3.0	0.50			
2 自然換気性能				-	-			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50			
4.3 運用管理				4.0	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.50			
2 喫煙の制御		敷地内全面禁煙		5.0	0.50			
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30			<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.0</b>	0.40			<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40			
1 広さ・収納性				3.0	-			
2 高度情報通信設備対応				3.0	-			
3 バリアフリー計画				3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30			
1 広さ感・景観				3.0	-			
2 リフレッシュスペース				3.0	-			
3 内装計画				3.0	1.00			
1.3 維持管理				3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		評価する取組が6ポイント		4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50			
3 維持管理業務				-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震				3.0	0.50			
1 耐震性				3.0	0.80			
2 免震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管、排水管にBを使用、Eは不使用		5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			

<b>2.4 信頼性</b>			<b>2.8</b>	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	0.30		-	3.6
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30		-	
1	階高のゆとり		3.0	-		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率が、0.096	5.0	1.00		-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.2</b>	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性	構造材を痛めることなく修繕、更新できる	4.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30		-	3.1
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30		-	2.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		評価する取組が4ポイント	<b>4.0</b>	0.40		-	4.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	3.0
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-		-	3.1
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40		-	3.2
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		外壁にポリスチレンフォーム、屋根にウレタンフォームを採用	<b>4.0</b>	0.20		-	4.0
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10		-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>		BEIm 非住宅 0.95 住宅(専有部) 0.83	<b>3.0</b>	0.50		-	3.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)			-	-		-	
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-	-		-	
4.1 モニタリング			-	-		-	
4.2 運用管理体制			-	-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30		-	3.1
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20		-	3.4
<b>1.1 節水</b>		節水コマ付水栓、節水型器具を採用	<b>4.0</b>	0.40		-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.1</b>	0.60		-	3.1
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10		-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20		-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20		-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		ビニル系床材	3.0	0.20		-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			3.0	0.10		-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		評価する取組が1つ	4.0	0.20		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	3.0
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			3.0	0.30		-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	1.00		-	
3 冷媒			-	-		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	2.9
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率が96%	<b>3.1</b>	0.33		-	3.1
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33		-	3.0
<b>2.1 大気汚染防止</b>		燃焼器具を使用していない	<b>5.0</b>	0.25		-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>2.0</b>	0.50		-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.2</b>	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制		評価する取組が3ポイント	4.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>2.7</b>	0.33		-	2.7
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.50		-	
2 振動			-	-		-	
3 悪臭			3.0	0.50		-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>1.6</b>	0.40		-	
1 風害の抑制			1.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			-	-		-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		評価する取組が4ポイント	5.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	